コタキナバル日本人学校だより

Blue　Sky

～ 夢をもち **情熱をもって 挑戦し続ける 子どもに** ～

第　6　号
（令和４年３月 11 日）
コタキナバル日本人会付属
　コタキナバル日本人学校
TEL　088-422297
URL http://www.sabah.edu.my/kjs/

令和３年度の締めくくりにあたって

本当に忙しかった３学期が終わりました。思い返せば１１月２２日に学校が再開されてから、たくさんの行事がありました。学習発表会、野外体験教室、水泳授業、宿泊体験活動。その間には、漢字力・計算力テストもありました。もちろん、その間も授業は進められています。日本より３学期が短いので、かなりベースアップで授業が進みました。でも、その中で子どもたちは活動を楽しみ、漢字力・計算力テストでは、確かな結果を出し、ベースアップした授業にもしっかり対応してくれました。本当にすごい子どもたちです。この子たちだからこそ、そして、コタキナバル日本人だからこそできたことだと思います。

子どもたちと私は９月下旬に着任してからの付き合いですが、すぐにこの子たちの素晴らしさがわかりました。一人ひとりが個性にあふれ、友達を思いやりみんなで楽しく過ごしています。

そして、学習にも前向きに取り組み、朝と昼休みには思いっきり体を動かしています。まさに知徳体のバランスが取れた学校生活がごく自然にできています。本当に素晴らしい子どもたちです。これからどのように伸びていくのかを見定めて、教師がどんなサポートをしていけばいいのか。子どもたちが素晴らしいので責任重大です。今後の私たち教職員の課題だと思います。

波乱に満ちた令和３年度でしたが、大きな問題もなく終えることができるのも、保護者の皆様のご支援・ご協力の賜物だと思います。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

（漢字力テスト）
部屋中の空気が張り詰めるほど
子どもたちは集中しています

感動の卒業式

３月１０日、本校で卒業式が挙行されました。卒業式は感動するものです。でも、今回の卒業式は心の底から突き上げられるような感動を体験しました。卒業生は中村優介さん。いつものＴシャツ姿ではなくパリッとしたスーツ姿。コタキナバルの空のようなブルーを基調にしたスーツがとても似合っていました。卒業証書を授与する時には、しっかり私の方を見てとてもきれいな姿勢で証書を受け取ってくれました。『今、この一瞬』を大切にしたいと私は思いました。ふと気が付くと私は演壇を通り越して優介さんの前に立っていました。今、思い返してみると演壇という隔たりのないところで握手がしたいと思ったのでしょうね。そんな気持ちにさせる「何か」が優介さんにはあったのでしょう。

そして、何にもまして素晴らしいと思ったのは、感極まって涙が出た後でも、自分の思いを最後まで言い切ったところです。『すごい！』と思いました。これはなかなか大人でもできないと思います。すごい強さを持っています。卒業式は卒業生が主役と言いますがまさに今回の卒業式がそれだと思いました。

あの日　あの時の思い出

（親子レク大会）
「ラフレシアをゲットせよ！」
めちゃくちゃハードなゲームでした

（宿泊体験活動）
「ラフティング」
激流、なかなか迫力がありました

（宿泊体験学習）
「ボルダリング」
あともう少しで手が届く！

（水泳教室）
ホテルのプールで水泳教室！

短い3学期でしたが、いろいろな活動がありました。
子どもたちは楽しみながらも友達とのつながりを深め、着実に人として成長しています。
「共に学び、共に育つ」教育の基本ですね。